

保全活動日記 vol.25

2018年10月7日(日)



●保全活動実施報告

- 参加人数：24名
- 活動内容：多様性の高い二次草原の復元をめざして、南西側草原エリアの草刈りを行いました。大阪府立大学と大阪国際大学の学生が、インターナップとして活動に参加してくれました。

- 実施日：2018年10月7日(日)
- 時間：9時00分～12時00分
- 天気：晴れ

活動実施場所(草原化)

草原エリアでは、多様性の高い二次草原の復元を目指して、年2回の頻度を目標にネザサ刈りとクズの除去を行っています。今回は南西側草原エリアについて、今まで刈り残していたネザサの刈り取りを行いました。その結果、広がりを感じられる草原になりました。次回は、引き続き南西側草原エリアのネザサ刈りを行う予定です。

活動実施場所 ■ネザサ、クズの除去



ネザサやクズを除去し、広がりのある風景をつ



一部のエリアではススキなどが確認できるようになりました。

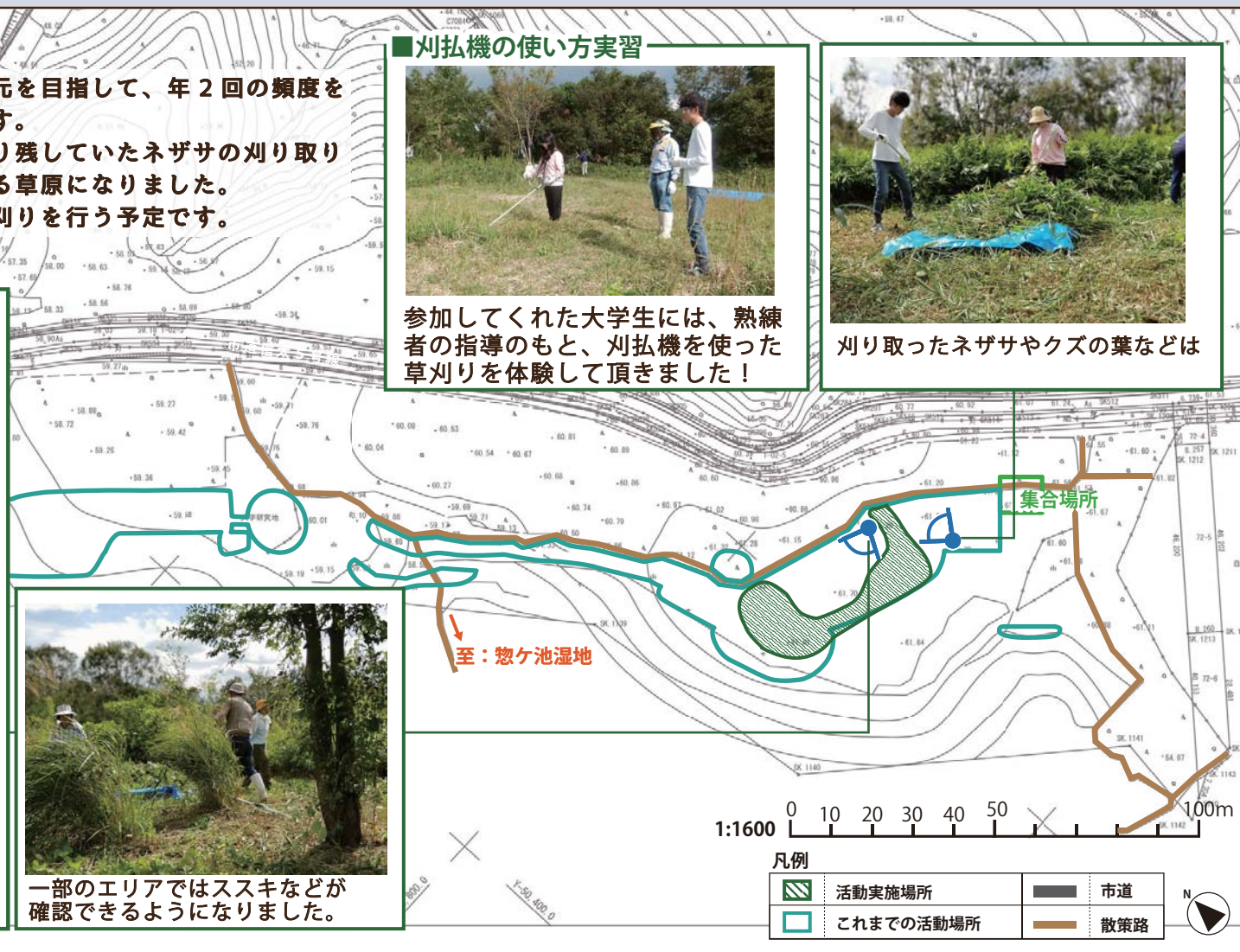
■刈払機の使い方実習



参加してくれた大学生には、熟練者の指導のもと、刈払機を使った草刈りを体験して頂きました！



刈り取ったネザサやクズの葉などは



●里山トピック！

■秋の草原の生き物

＼開けた明るい草原で見つけられます／

＼殻は淡い黄白色で光沢があり、黒褐色の筋があるカタツムリ／



ホシササキリ



クチベニマイ

＼日本のバッタの仲間では一番大きい／



トノサマバッタ



カマキリの卵

＼7～10月に咲くバラ科の花／

ツユクサ
全草を乾燥させたものを
生薬で鴨跖草（おうせき
そう）とといいます。
解熱、利尿、解毒など
の薬効があるそうです。



キンミズヒキ



オトギリソウ

この草を原料にした秘薬の
秘密を漏らした弟を兄が切
り殺したという平安時代の
伝説が、名前の由来になっ
ているとの説があります。



●クズでつくるツルカゴ

環境保全活動では、除去したクズを使って、ツルカゴを編む取組も行っています。

＼講師である本藤さんから、ツルカゴ編みの技を教わります



■当日は地元の秋祭りも行われ、にぎやかな雰囲気の中での活動でした



隣接する市道信太5号線は地域住民の通行も多い道路です。



富秋町のおみこしです。

▼「信太山丘陵市有地」についての詳しい情報は、
市のホームページをご覧ください。

＼ QR コードで読み取り /

＼ 以下のワードで検索 /

信太山丘陵市有地

検索

